

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社
野村不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社

**津田沼駅前土地区画整理事業「奏の杜」
「（仮称）津田沼区画整理29街区プロジェクト」着工
地上24階建・総戸数869戸の大規模免震レジデンス**

三菱地所レジデンス株式会社、野村不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社は、JR「津田沼」駅前の約35万㎡の広大な敷地を進む土地区画整理事業「奏の杜（かなでのもり）」の一画において、「奏の杜」最大規模となる地上24階建・総戸数869戸（予定）の分譲マンション「（仮称）津田沼区画整理29街区プロジェクト」を4月1日（月）に着工しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、JR総武線「津田沼」駅より徒歩8分、土地区画整理事業により電線類の地中化やデザイン性の高い街路整備が進み、統一感のある緑豊かな街並みが形成される新しい街「奏の杜」の中心街区に誕生します。

建物は免震構造を採用するほか、各階に防災倉庫、中庭にマンホールトイレや災害用ベンチを設置するなど災害に強い住まいとします。また、太陽光発電システムの導入や全ての共用部照明をLED化し、その一部には調光システムを採用するなど、環境負荷の低減にも努めます。

住戸プランは、基本プラン25タイプ、2LDK～4LDKのプランバリエーションをご用意。販売開始は2014年1月以降を予定しております。

土地区画整理事業により誕生する「奏の杜」では、これまで「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」（総戸数721戸）や「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜テラス」（総戸数62戸）が好調に完売し、複合サービス街区では、食品スーパーと25の専門店からなる近隣型ショッピングセンターの建設も進められています。4月13日（土）には、まちびらきイベントの開催も予定され、今後の発展にますます期待が高まります。

三菱地所レジデンス、野村不動産、三井不動産レジデンシャルは、3社のノウハウを結集し、津田沼駅南口の活性化につながる街づくりに貢献してまいります。



▲建物イメージ

■ 「(仮称) 津田沼区画整理29街区プロジェクト」物件概要

所在地：習志野都市計画事業 JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業地内29街区
1～48画地

交通：JR総武線快速・総武線「津田沼」駅（駅舎）徒歩8分

敷地面積：24,009.18㎡

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上24階、地下1階建・免震構造

総戸数：869戸（事業協力者住戸含む）

間取り：2LDK～4LDK

着工：2013年4月1日

竣工：2015年7月初旬（予定）

入居開始：2015年12月下旬（予定）

売主：三菱地所レジデンス(株)、野村不動産(株)、三井不動産レジデンシャル(株)

設計・監理：(株)フジタ首都圏支社一級建築士事務所

施工：(株)フジタ

管理会社：管理組合設立後、三菱地所コミュニティ(株)に委託予定

■ 現地案内図





【参考】 土地区画整理事業地「奏の杜（かなでのもり）」について (<http://www.kanadenomori.jp>)

- ・「奏の杜」は、JR「津田沼」駅前の約35万㎡（東京ドームグラウンド約26個分）の広大な敷地を進む習志野都市計画事業JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業（施行者：習志野市JR津田沼駅南口土地区画整理組合、業務代行者：株式会社フジタ）によって誕生した新しいまちです。
- ・「健やかな時間（とき）が息づくまち」をコンセプトとし、住宅や商業施設を中心に、公園、街路樹などを備えた、緑地総面積約7万㎡、緑地率約20%の緑豊かな美しいまちを計画しています。良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、まちづくりコーディネーターである株式会社フジタの全面的なサポートのもと、【景観】【安全・安心】【環境】【エリアマネジメント】の4つをテーマに、まちをつくり、まちを育てる活動が進められています。
- ・「奏の杜」では、電線類の地中化をはじめ、まち全体のデザインコンセプトに基づく舗装デザインや植栽、照明計画等による美しいまち並みを創出するとともに、防犯まちづくり活動計画や防犯カメラの設置など、まちの安全・安心にも配慮しています。2011年6月には、居住者、土地所有者を主体とするエリアマネジメント組織を設立し、まちの魅力や価値の維持・向上を図る活動をスタートしています。
- ・現在、低層戸建住宅街区及び中高層住宅街区で住宅建設が本格化しているほか、複合サービス街区では近隣型ショッピングセンターの建設も進んでいます。今後、近隣公園や街区公園、歩行者専用のシンボルプロムナード等の整備も順次開始します。